

事務事業名	わかさ図書館資料提供事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12438					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保					
			所属担当	わかさ図書館	担当者名	石原 美紀					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	01	一般	10	04	04	040	06	
施策	35	生涯学習システムの推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)			法令根拠	図書館法、南アルプス市立図書館条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	市民の暮らしに役立つ最新情報・資料の提供			項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
	・購入する新聞・雑誌の検討 ・雑誌の受入と登録・配架 ・時事情報の収集(毎日) ・新聞の整理(毎日)			消耗品費		546					
								計		546	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない							
26年度活動内容	購入数 新聞 5紙 雑誌 41誌	⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア新聞購入数</td><td>紙数</td></tr> <tr><td>イ雑誌購入数</td><td>誌数</td></tr> </table>	名称	単位	ア新聞購入数	紙数	イ雑誌購入数	誌数
名称	単位								
ア新聞購入数	紙数								
イ雑誌購入数	誌数								
27年度活動予定	購入数 新聞 5紙 雑誌 41誌								
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⇒							
図書館利用者		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア図書館利用登録者数(自館)</td><td>人数</td></tr> </table>		名称	単位	ア図書館利用登録者数(自館)	人数		
名称	単位								
ア図書館利用登録者数(自館)	人数								
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⇒							
新聞や雑誌を利用する人が増え、貸出冊数が増える。		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア雑誌の貸出冊数</td><td>冊数</td></tr> </table>		名称	単位	ア雑誌の貸出冊数	冊数		
名称	単位								
ア雑誌の貸出冊数	冊数								
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⇒							
図書館を身近に感じ、継続して図書館を利用してもらう。		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア年間貸出点数</td><td>点数</td></tr> </table>		名称	単位	ア年間貸出点数	点数		
名称	単位								
ア年間貸出点数	点数								

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	544	517	546	557	557	557		
		事業費計(A)	千円	544	517	546	557	557	557	0	
年間トータルコスト	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	80		
		人件費計(B)	千円	364	364	364	364	364	364	0	
		(A)+(B)	千円	908	881	910	921	921	921	0	
活動指標	ア	紙数		6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
	イ	誌数		43.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0		
対象指標	ア	人数		5,793.0	5,922.0	6,100.0	6,283.0	6,471.0	6,665.0		
	イ										
成果指標	ア	冊数		4,700.0	4,842.0	4,987.0	5,137.0	5,291.0	5,450.0		
	イ										
上位成果指標	ア	点数		59,749.0	64,683.0	66,623.0	68,622.0	70,681.0	72,801.0		
	イ										

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H15年わかさ図書館開館時から、市民に最新情報を伝える資料として、新聞雑誌の資料の提供を行っている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	経済状況の悪化に伴い、雑誌の値上がりや休刊・廃刊が多くなり、雑誌の購入タイトル数に変動がある。今後も変動があると思われるので、市民のニーズにあった選書をしていく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	図書館に多くの新聞・雑誌があることで、最新情報が得られると喜ばれている。毎日、新聞の閲覧をしている市民もいる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	市民のニーズにあった選書を、市民に提供している。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	新システムが開始。雑誌の予約が可能となり、利用者にこれまで以上に簡単に資料を提供することが出来るようになった。市立図書館全館で新聞の購入構成の見直しを行った。

事務事業名	わかさ図書館資料提供事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民が最新の情報を得る手段としては、新聞雑誌の提供が欠かせない。市民の知識や教養を高めるために貢献している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 家庭や個人で新聞や雑誌が購入できない人も、図書館を利用することによって、多くの情報を得ることができる。市民の知識や教養を高めるためには市が行うことが妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 情報拠点の図書館として、市民に最新情報を提供するためにこの事業は必要である。また、最新情報の新聞・雑誌の利用をきっかけに図書館資料の利用も増えると思われるので維持・継続していくことは妥当である。目的や事業の必要性を見直す余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 多くの市民に新聞や雑誌を利用してもらえるように、広く周知を図る。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 新聞は貸し出しができないので、市民が簡単に足を運べる地域の図書館においておく必要がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市民誰でもが、等しく最新の情報や知識を得ることができない。市民の暮らしや学習活動を支援するために廃止はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 年々値上がりしている。購入数を増やさなくても事業費は少しずつ上がっていく。最新情報を提供するためには、これ以上の削減はできない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在、正規職員1名、常勤臨時職員2名で業務にあたっているが、正規が1名しかいないので、これ以上の人件費の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 誰でも利用できる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	パンフレットの整理、環境百恵図書、トピックスなど工夫を凝らした。 多くの市民に、図書館では本だけではなく様々な情報があることを周知していく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ① 広報活動のさらなる工夫																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① この事業の内容をより多くの市民に周知するためには、図書館内外だけでなく、様々な施設の掲示スペースを利用し、広報活動を工夫していく。また、他課等の事業に職員が出かけてPRしていく。(市民フェスタ等)	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					